

万行寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460

2024(令和6)年

仏暦2567年

5月号

(第152号)

実践運動 総合テーマ『そとつながる ホツがつたわる～結ぶ絆から、広がるご縁へ～』



住職 法話

煩惱は往生(救い)をさまたげない

正信念仏偈に学ぶ
譬如日光覆雲霧
雲霧之下明無闇
たとへば日光の雲霧に覆は
るれども、雲霧の下あきら
かにして闇なきがごとし。

「現代語訳」
しかし、たとえば日光が雲
や霧にさえぎられても、そ
の下は明るくて闇がないの
と同じである。

引き続き『尊号真像銘文』
親鸞さまは「心光摂護の
益」を詳しく示されます。

「譬如日光覆雲霧 雲霧之
下明無闇」というのは、
太陽や月が雲や霧におおわ
れていても、闇は晴れて雲
や霧の下が明るいように、
貪りや怒りの雲や霧に信
心がおおわれても、往生
のさまたげになることにはな
いと知るがよいというので
ある。

雲や霧というものは、光を
覆ってしまっても闇にはなり

ません。つまり、貪りや怒
りといった煩惱に覆われるか
らといって、また迷いの闇に
戻るわけではないということ
です。そこで、阿彌陀仏は
「心光」を放ち、この私の信心
を護ってください。「ご利益」
を与えるのです。何か、煩惱
が悪さして往生成仏できな
いのはどう見方があるから
す。しかし、煩惱があるから
といって往生するためのさ
またげにはならないと仰る
のです。

先日、ご主人の三回忌法要
のお勤めに伺った時の奥様と
のお話です。お勤めの後、
奥様は感極まるように「ごめ
んね、ごめんね」と遺影を前
に涙されていました。ご事情
を尋ねると、生前、夫婦喧嘩
が絶えなかつたそうです。亡
くなるのも突然ということも
あり、その日まで喧嘩してい
たそうです。謝ることもなく、
そのまま逝ってしまつたの
で、只々、謝ることしかない
と仰られます。毎日、遺影
を前に語りかけ謝られている
そうです。ご自身も、最近、

家の中で転んでしまい歩行も
ままならなくなつて、娘たち
に面倒をかけてしまうことも
増えたそうです。

最後には「早く連れてつて
：」とご主人へ語りかける奥
様の様子から、喧嘩が絶えな
かつた煩惱にまみれた生活か
ら解き放たれ、仏さまにな
つたご主人に語りかけ謝り続
けたことによつて、「信心」
に似た心を得られた瞬間だつ
たのではないでしょう。お
念仏も、只々、仏恩報謝とい
う謝りの心に尽きるもので
す。

我が家でも、毎日、中学生
の娘と言ひ合いが絶えませ
ん。注意をしたことが、娘に
とつてどうしても納得できな
い時は、口癖で「如来さんに
聞いてもらいな！」と仏間に
行かせます。仏間から騒がし
くあれこれと文句ばかり聞こ
えてきますが、そのうち静か
になつて心落ち着くことが出
来ている様子です。
悩み悩みの日々が続きます
が、私も仏さまから乗り越
えていく力を頂いています。

浄土真宗 新 仏事のイロハ

四、法要・行事

— 仏縁を深めよう —

「永代経の心」

お寺では「永代経」という法要も…

お寺にお参りされている方であれば「永代経」という言葉は、よく耳にされることでしょうが、最近では、「永代経」って、どんなお経ですか」と、お経の一つだと思っ

ている方もいるようです。

永代経とは、永代読経の略で「末永く（永代に）お経が読まれる」という意味です。そこからまた「お寺が存続し、仏教が繁盛し続けるように」という願いが込められた意味にもなります。つまり①お寺が護持されること ②そこで子や孫が代々にわたって教えを聞き喜ぶこと—この二つが「永代経」の心だと言っ

てよいでしょう。



そうした願いと志を持って、ある程度まとまったお金や、仏具などをお寺に納めるのが「永代経懇志」であり、その報恩の行為を受けて、お寺が開く法要が「永代経法要」です。

したがって、「永代経を上げる」という場合の永代経は「永代経懇志」のことで、すし、「永代経が勤まる」といえば「永代経法要」をさしてきます。

多くのお寺では、この永代経法要を、報恩講に次いで盛大に勤められます。おむね年一、二回、春や秋に行われるようです。

また、懇志については、故

人への追慕から納める慣わしになっ

ていて、表書きには「永代経 志」などの文字の右肩に、故人の法名を記したりします。これは、故人のために納めるというのではなく、故人の「永代に教えが伝わるように」との遺志を受けた施主が故人になり代わって納めるからです。故人への追善供養ではありませんで、ご注意願います。

さらに、いったん納めてしまえば責任が果たせたと考えるのも困ります。ある方など「永代経を納めましたので、お参りに行かなくてもちゃんとお経を上げてくださるので安心です」と話されてしまいたが、これでは永代経も台なしです。お念仏の教えを私に伝えてくださったご先祖の遺徳を偲び、何より私自身が聞法に励んで、喜びを子孫に伝えていく—そうした思いこそが永代経の心です。

「浄土真宗 新 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より

年忌法要表

1 周忌	2023 (令和 5) 年	23 回忌	2002 (平成14) 年
3 回忌	2022 (令和 4) 年	25 回忌	2000 (平成12) 年
7 回忌	2018 (平成30) 年	27 回忌	1998 (平成10) 年
13 回忌	2012 (平成24) 年	33 回忌	1992 (平成 4) 年
17 回忌	2008 (平成20) 年	50 回忌	1975 (昭和50) 年

編集後記

諸々の値上げが続いて、郵便料金も更なる値上げの予定だそう。毎月の寺報発送も大いに影響します。◆いつでも閲覧できるネット社会ですが、寺報は発送して手に取って読むことにこだわっていきなさい。ざっと読むだけでも心落ち着く瞬間になります。

